

第三期地域医療再生計画(15億円)の事業概要

(単位:千円)

【災害医療体制の整備】

事業名	予算額(基金充当額)				事業の概要
	H25	H26	H27	計	
① 津波等災害対策事業	157,518	569,513	0	727,031	
自家発電装置整備事業(赤石病院)	1,184			1,184	東日本大震災の経験を踏まえ、大規模災害への備えとして赤石病院に非常用自家発電機を整備するもの。
自家発電装置整備事業(塩竈市)	93,054			93,054	東日本大震災の経験を踏まえ、大規模災害への備えとして塩竈市立病院に非常用自家発電機等を整備するもの。
免震構造整備事業(拓桃医療療育センター)	63,280	569,513		632,793	東日本大震災の経験を踏まえ、大規模災害への備えとして拓桃医療療育センターに免震構造等を整備するもの。(※こども病院と併設し、小児医療体制を強化する。)

【医師確保の対策】

事業名	予算額(基金充当額)				事業の概要
	H25	H26	H27	計	
② 医療従事者育成事業	0	85,000	85,000	170,000	
内科寄附講座(地域医療支援寄附講座)の設置(東北大学)		50,000	50,000	100,000	東北大学の地域医療支援寄附講座の2年間の延長による地域医療支援の充実強化を図るもの。
小児寄附講座の設置(東北大学)		35,000	35,000	70,000	東北大学の小児科医師育成寄附講座の2年間の延長による地域医療支援の充実強化を図るもの。

【在宅医療の推進と連携体制の構築・強化】

事業名	予算額(基金充当額)				事業の概要
	H25	H26	H27	計	
③ 在宅医療連携推進事業	147,845	110,762	102,762	361,369	
介護と連携した在宅医療体制の整備	147,845	110,762	102,762	361,369	介護事業と在宅医療との連携を強化するため、多職種連携推進のためのシステムの構築、在宅緩和ケア推進のためのネットワーク形成等の体制整備を図るほか、在宅医療の普及啓発、在宅医療を推進していくための研修会や講演会を実施するもの。

【地域医療再生計画策定時からの状況変化に伴う新たな取組】

事業名	予算額(基金充当額)				事業の概要
	H25	H26	H27	計	
④ 救急・災害医療再生事業	130,100	23,500	23,500	177,100	
救急医療体制の強化(栗原市)	96,600			96,600	栗原医療圏における唯一の二次救急医療機関として機能している栗原中央病院について、震災以降、診療科によって増減はあるものの総数で常勤医が4名増員しており、一般病棟の病床利用率も向上(H23:66.7%, H24:72.2%)していることから、救急医療体制の強化を図るべく設備整備を実施するもの。
災害医療体制の強化(東北大学)	30,000	20,000	20,000	70,000	災害時における通信環境整備が進む中、東日本大震災の経験を基に、被災地・宮城発のスマートフォンやタブレット等のデジタルデバイスを活用したモバイルアセスメントシステムを開発する。避難所等から当該アプリケーションを利用してクラウドサーバーに送られてきた災害医療・救護に係る避難所等の膨大なデータを格納、解析する基盤を構築するもの。
災害医療コーディネーター及び災害医療従事者の研修、DMAT訓練(1.5日研修)の実施(宮城県)	3,500	3,500	3,500	10,500	東日本大震災の経験を踏まえ、災害医療コーディネーター及び災害医療従事者研修会の開催やDMAT訓練(1.5日研修)を実施するもの。
⑤ 地域医療連携推進事業	0	30,000	30,000	60,000	
がん薬物療法(化学療法)の体制強化(東北大学)		20,000	20,000	40,000	震災により中核病院である石巻市立病院や多くの診療所・薬局等を失った旧石巻医療圏において、がん薬物療法の実施体制の整備の遅れが課題であり、東北大学と石巻・登米・気仙沼医療圏唯一の地域がん診療連携拠点病院である石巻赤十字病院が連携し、石巻赤十字病院にがん薬物療法(化学療法)の体制整備を図るほか、大学・がん診療連携拠点病院・地域医療機関間の地域医療連携を深めることにより、地域のがん医療再生を図ろうとするもの。
地域医療学会の設置(拡充)(宮城県医師会)		10,000	10,000	20,000	新しい包括的な地域医療モデルの構築を目指すため、宮城県の地域医療の諸問題を多職種連携で共に考え、問題点を共有し、地域医療を発展させることを目的として、全県的に学会形式で実施するもの。
⑥ 気仙沼地域医療事業	600	1,500	2,400	4,500	
医療従事者修学資金貸付(南三陸町)	600	1,500	2,400	4,500	震災後、医師・看護師はもちろんのこと、その他医療従事者が不足している状況で、医療提供体制を確保するために不足する薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師等医師等の職種を対象とした修学資金貸付など受入体制を強化するもの。

合計	予算額(基金充当額)			
	H25	H26	H27	計
	436,063	820,275	243,662	1,500,000